

平成 27 年度人間文化創成科学研究科（博士前期課程）8 月入試
ライフサイエンス専攻 遺伝カウンセリングコース 口述試験課題

下記の課題についてパワーポイント 6 枚程度を用いて口頭発表をしてください。

口述試験会場に持ち込めるものは、発表に使うパワーポイントファイルを入れた CD-R、USB メモリーのみです。発表時間は 8 分程度とし、試験時間は発表・質疑応答をあわせて 15 分程度です。発表には、動画や音声は使用できません。また、必ずバックアップファイルを持参してください。

発表内容の要旨を A4 用紙 1 枚に 800 字以内でまとめ、「外国語試験・遺伝カウンセリングに関する基礎科目試験・小論文試験」の前に試験監督者に提出してください。要旨には、志望コース名、受験番号、氏名、口述試験で使用する情報媒体（CD-R、USB）を明記してください。

口述試験課題

遺伝子解析技術の進歩に伴い、さまざまな遺伝子疾患の診断が可能となってきています。約 2 万あると言われている遺伝子の塩基配列を調べる全エクソーム解析も、低価格で実施できるようになってきました。

この方法により、ある特定の疾患に罹患している方（被検者）が、どのような遺伝子の変化が原因で発症しているのかを調べるのが可能です。一方で、この方法で遺伝子配列を調べると、その時点で調べようとしている疾患とは関係のない他の疾患に関連する遺伝子の変化も判明することがあります。このような、当初意図した目的を超えて偶然見いだされた遺伝子の変化に関する情報は“**incidental findings**”と呼ばれます。

- （1）この結果が他の疾患の発症にかかわるかどうかを詳しく解析すべきかどうか？
 - （2）上記に際して、何か要件があるとしたら、それは何か？
 - （3）本来の疾患の原因とは無関係なこの“**incidental findings**”を被検者に伝えるべきかどうか？
 - （4）上記に際して、何か要件があるとしたら、それは何か？
- 以上の 4 点について、自身の考えを述べて下さい。